

たか はし ひで のり

高橋秀典県議会レポート

発行/自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話043(227)7411

地域の道路整備に情熱!

銚子連絡道の早期事業化を訴え 都市計画原案説明会、10月開催

旭市選出で1期目ながら、活発な議会活動を展開する高橋秀典(たかはし・ひでのり)県議は、2月定例議会に続いて9月議会で一般質問に登壇しました。この中で高橋議員は、東総地域の発展に欠かせない道路整備の重要性を訴え、銚子連絡道路など首都圏へのアクセス強化に向け、1日も早い整備を要望しました。また、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、来春の高校入試への影響が懸念されることから、県教育委員会の早期の対応を求めました。その他、新規就農支援など、高橋議員の地域への思いを込めた質疑を特集しました。



コロナ対策の議場に登壇した高橋県議

銚子連絡道路

高橋議員 銚子連絡道路は、事業中である横芝光町から匝瑳市間約5キロについて、令和5年度の開通目標が公表されるなど、着実に事業が進められている中、これに続く匝瑳市から旭市に至る約13キロの区間について、早期の事業着手への期待が高まっています。

銚子連絡道路の匝瑳市から旭市区間の検討状況はどうか。

国土整備部長 銚子連絡道路は、旭市と銚子市がより効果的に結びつき、観光面でも両市の連携促進につながるものと考えます。

そこで伺います。国道126号八木拡幅の進捗状況はどうか。

国土整備部長 銚子連絡道路の一部をなす国道

銚子連絡道路は、旭市方面と圏央道とのアクセス向上や、国道126号の交通混雑の緩和を図る重要な道路です。

匝瑳市から旭市間は、ルートや構造など具体的な道路計画がまとまったことから、地元市による都市計画の原案説明会が、今月開催される予定です。

引き続き、地元市と連携し都市計画の手續きを進め、早期事業化に向けて取り組んでまいります。

要望 旭市・匝瑳市と連携し、1日も早い事業化の実現に向けて進めていただくよう要望します。

八木拡幅の状況

高橋議員 国道126号八木拡幅は、完成すれば安全面における改善はもちろん、農業・漁業の拠点である

太平洋岸自転車道

高橋議員 太平洋岸自転車道の旭市区間は、東日本大震災後に新たに建設された防潮堤と一体となった自転車道であり、九十九里浜を横に見ながら海風を感じて走ることで非常に魅力ある自転車道です。

そこで伺います。太平洋岸自転車道の旭市域における整備状況はどうか。

国土整備部長 太平洋岸自転車道の県内区間は、岸自転車道の起点である銚子市から、九十九里、南房総地域を経由し、浜金谷港に至る219キロであり、こ

この区間の用地取得率は約9割となっており、現在、残る用地の取得を進めるとともに、順次道路改良工事を実施しているところです。

引き続き、地元市のご協力をいただきながら、令和5年度の供用を目指し、事業を推進してまいります。

要望 国道126号八木拡幅の用地取得については、残り1割ということですので、この事業の意義を地権者の皆様にご理解いただけるよう頑張ってください。

旭市域では、津波対策工事に伴い、県道飯岡九十九里自転車道線のうち、約10キロの区間を現在通行止めとしているため、暫定的に県道飯岡一宮線へ誘導しています。

今年度、津波対策工事が完了することから、来年度からは県道飯岡九十九里自転車道線について、堆積した土砂の撤去や、区画線の引き直しなどを速やかに行った上で、太平洋岸自転車道として利用することとしています。

種子条例を可決・成立

先の2月定例議会で高橋秀典県議が一般質問で取り上げ、条例制定を求めた「千葉県種子条例案」が、9月議会の最終日に執行部から提案され、可決成立しました。

種子条例とは、「種子法」が廃止されたことに伴い、県はこれまで「種子対策要綱」に基づき、主要農作物

先のこと、麦、大豆の種子の安定供給に努めてきました。

しかし、種子価格の値上がりによる生産継続への不安があるため、法的根拠に基づいて種子生産事業に継続的に取り組めるよう、対象品目に新たに落花生を含めて条例制定されました。

9月県議会一般質問に登壇

コロナ禍の来春高校入試への対応

受験生の不安軽減を

高橋議員 令和3年度の公立高校入試では、新型コロナウイルス感染症対策をどのように行っているのか。

澤川教育長 昨年度の入試では、新型コロナウイルスが県内で拡大する中、休校している中学校の受験生の検査を近隣の別会場で実施したり、追検査の試験問題を準備しました。

今年度、令和3年度の入試の際にどのような感染状況になっているのか現時点では分かりませんが、あらゆる

状況を想定し、受験機会を確保するための追検査や、中学校、高等学校が休校した場合の緊急対応などについて、準備を進めているところです。

要望 休校期間が受験日程に当たるといったケースも考えられるので、他会場での実施や地域ごとの分散実施といった可能性も含め、受験生や保護者の不安を軽減するためにも、状況ごとの対策を早期に決定するよう要望します。



登壇し議場に語りかける高橋県議

学力低下の防止

高橋議員 新型コロナウイルス対策のための臨時休校による学力への影響について伺います。県内公立小中学校における児童・生徒の学習状況について、どのように認識しているのか。また、学力低下を防ぐためにどのような対応をしているのか。

澤川教育長 県内公立小中学校を対象に、教育活動の課題について調査したところ、約3割の学校が通常より授業の進展が早く、理解が不十分な子どもが増えたと回答しており、個々の児童生徒の学習状況に合わせた支援が必要だと認識しています。

要望 学習支援ソフトウェアを有効活用するため、各市町村で補助制度を活用した導入をさらに促進するとともに、有効な活用方法の共有を進め、学力格差の是正につながるよう要望します。

本県農業の衰退を懸念

高橋議員 農業従事者の現状ですが、直近の農業センサスによる調査では、わずか5年で17.5%の担い手が減少したということであり、このままでは本県農業の衰退が懸念されます。新規就農支援について、県の取り組みはどうか。

農林水産部長 県では、新規就農の相談に因應するため、農業事務所等に相談窓口を設置するとともに、国の制度を活用し就農前後の

7年間に、年間最大150万円の就農資金を交付するほか、営農に必要な栽培技術や経営管理などの研修を実施しているところです。

今年度は、就農相談会により一層本県の農業に関心をもちてもらえるよう、相談会場と農家をオンラインで結び、農場の状況や収穫などの作業の様子を直接伝えることとしています。

今後、このような工夫を重ねることなどにより、

新規就農者の確保と支援に取り組みまいります。**要望** 積極的な農業法人へのマッチング支援

事業承継への支援を

高橋議員 コロナ禍における中小企業の事業承継支援について、県はどのように取り組んでいくのか。

商工労働部長 県では、感染症により事業の展望が見えにくくなり、特に後継者のいない高齢の経営者などは、廃業する懸念があるため、より一層の支援を行なっていく必要があります。

そこで、更なる取り組みとして経営者からの相談を待つことなく、専門家が直接企業を訪問し、支援ニーズの掘り起こしを行うこととしたところであり、今後

要望 いずれは事業承継を考えなければと思っても、先延ばしになってしまう方も多いように思います。そうした方が、コロナ禍を機に一気に廃業に向かうようなことは避けなければなりません。アウトリーチでの積極的な支援を行なっていただくことは、地域経済を守る上で必要なことと思っております。強力に推進していただくよう要望します。

氾濫推定図の作成

高橋議員 水位周知河川以外の河川における浸水想定について、今後どのように取り組んでいくのか。

県土整備部長 国は、本年6月に簡易な浸水想定手法を示した「小規模河川の氾濫推定図作成の手引き」を策定し、水位周知河川以外の河川について、水害リスク情報の公表促進に努めるよ

う、県に要請を行っています。本県では、191河川が一体的に対象となりますが、このうち94の水位周知河川の支川については、既に水位周知河川合せて一体的に浸

要望 水位周知河川以外の河川の氾濫推定図の作成に当たり、今後は優先順位を付けて段階的に作成することになると思いますが、その場合は市町村と協議の上、要望を考慮するようお願いします。

新規就農支援を訴え!

高橋県議の質問項目

- ①教育問題について
- ②農林水産業の振興
- ③中小企業への支援
- ④河川の浸水想定
- ⑤道路問題について
- ⑥その他

●県政と旭市に関するご意見をお寄せください。

高橋秀典 県議事務所

〒289-2516 旭市口-1551-4
TEL.0479-62-6896 FAX.0479-62-6897

Eメール.mail:keimeikan@gmail.com